

令和3年10月秋経協セミナー報告

# 「管理者が知っておきたい決算書の見方」

～経理・営業担当者も知っておきたい財務の重要性～

会場 ホテルメトロポリタン秋田 参加者 13名



10月7日（木）今年度第3回目の秋経協セミナーが、ホテルメトロポリタン秋田を会場に13名の受講生が参加し開催された。講師は、経営工房もんじゅの知恵代表で中小企業診断士 吉成俊勝氏。

今年度のセミナーは、コロナウイルス感染防止対策として、受講生の定員を最大15名に制限し、講師演壇のスクリーン対応、検温、マスクの着用、入室前の消毒等実施し、開催している。

今回は、「管理者が知っておきたい決算書の見方」がテーマ。決算書（財務諸表）を読み解き、的確な経営判断することの重要性、必要性を学んだ。前半は、決算書の仕組み、財務情報分析による現状把握、後半は経営戦略としての活用事例を解説と演習問題がテーマ。受講生からは「分かりやすく、演習問題を解くことで理解が深まった。」「もう少しキャッシュフロー、資金計画、損益計画を学びたかった。」などの声が聞かれ、真剣に取り組む受講生の姿が多く見られ、好評のセミナーとなった。

次回は、「緊急時に備える労務リスク対応」をテーマに、会社を守るためのリスク管理を学ぶセミナー。新型コロナウイルス等の感染症、近年多発している自然災害とうから従業員の安全を守りつつ、事業継続のノウハウを労務管理の観点から学びたいと思います。講師は、横浜リンケージ社労士事務所代表 蔵中一浩氏です。開催日 令和3年11月11日（木）詳細は、秋経協事務局まで



講師紹介 経営工房もんじゅの知恵 代表

中小企業診断士/行政書士 吉成 俊勝（よしなりとしかつ）

茨城県日立市出身

平成20年「経営工房もんじゅの知恵」設立開業。経営の専門家として知識とスキル、持ち前の探求心と論理思考能力を武器に、中小企業が、安定した経営環境のもと、価値ある事業活動が出来るよう事業と経営を応援している。